（第2号様式）

北中城 第2293号
令和5年 3月30日

沖縄県教育委員会教育長　殿

沖縄県立北中城高等学校
校長　　田名　裕治
（公印省略）

令和4年度県立学校学校評議員の運営状況について（報告）

令和5年2月10日付け教県第1995号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1　日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和4年7月26日（火）	場所	図書館	出席状況	評議員3名、本校職員6名
第2回	日時	令和5年1月16日（月）	場所	書面会議（郵送）	出席状況	評議員2名
第3回	日時	令和5年3月24日（金）	場所	校長室	出席状況	評議員4名、本校職員5名

2　学校評議員に求めた事項

①学校経営について
②毎学期の学事報告を聞いての意見
③進路指導体制と進路決定状況を聞いての意見
④生徒指導体制の報告を聞いての意見
⑤学校評価アンケートの結果を受けての意見

3　学校評議員の意見

①コロナ対策を取りながら、生徒が自ら計画し、行事を行う等、生徒の明るさ、素直さ、挨拶の良さは素晴らしい。また、部活動の活躍も素晴らしい。
②コロナ禍であるが、3年生の遅刻・欠課・欠席数が多いのが気になる。安易に休む傾向にあるのでは無いか。改善に向けた取組をお願いしたい。
③県外国公立合格も含め、大学進学率が高いのは素晴らしい。来年度は更なる飛躍を期待する。
④生徒の授業に備えた家庭学習への取り組みを強化する必要がある。
⑤いじめ等教育相談の迅速な取り組みや指導は素晴らしい。係の負担軽減の為にも、時間軽減及び養護教諭の増が必要。
⑥地域にもアピールできる、魅力ある学校づくりへの取り組みを期待する。

4　学校運営に反映した事項

①学校HPの最新情報の掲載を迅速にし、保護者用連絡アプリスクリレの導入で、学校からの情報発信を充実と欠席連絡の職員負担を軽減できた。
②指定研究校の取り組みに伴って、新指導要領に向けた評価や見取りの研修を含め、ICT研修や総探、キャリア教育等の職員研修を多く取り入れ、興味関心のある授業への取り組みを強化した。
③コロナ禍であっても、感染対策を取りながら実行できる行事への取り組みを、生徒会を中心に話し合い、実施できた。

5　課題その他

①来年度に向け、GIGAスクール構想の実現に向け、一人一台端末を活用した生徒の意欲を引き出す授業への取り組みを、学校全体で取り組む必要がある。
②クラッシー等教授用アプリを活用した、家庭学習や自主学習の強化に取り組む。